Red Cross Society Himeji School Of Nursing | carillon

カリオン

Vol. 37
2019.2

TOPIC 臨床指導者と協働した母性看護学演習を実施して

平成30年12月4日（火）

マタニティサイクルにある人々の看護-2　「褥婦の進行性変化及び退行性変化のアセスメント」演習を行いました。妊娠・分娩・産褥期の女性のイメージが難しく、母性看護学実習に不安を持つ学生もいます。そのため、今年度は4階東病棟・MFICUの臨床指導者に演習に参加して頂き、より実践に近い形で演習を行うことで産褥期看護のイメージ化を図りました。学生は緊張感漂う中、褥婦の観察場面をシミュレーションしました。「観察」「アセスメント」「報告」の過程を、指導者と共に学ぶことでイメージ化につながったようです。臨床指導者にとっても、学生を知る良い機会となりました。引き続き、学生が安心して実習に臨めるような実習環境を、臨床指導者とともに整えていきたいと考えています。

（専任教師:小野 真弓）

行事予定（平成31年2月～5月）

2月　17日（日）　第108回看護師国家試験
18日（月）～クラスII　領域別実習再開

3月　6日（水）　卒業を祝う会
8日（金）　クラスIII　卒業式
20日（水）～4月3日（水）　全クラス　春季休業
22日（金）　国家試験合格発表

4月　4日（木）　新年度始業
5日（金）　入学式
12日（金）　新入生歓迎会
27日（土）～5月6日（月）　保健週間

5月　10日（金）　ナイチンゲール祭

4月～6月　クラスI　基礎看護学実習I

姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

1）人道（ヒューマニティ）を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。

2）人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。

3）人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。

4）赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。

5）人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。

6）健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。

7）看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。

8）保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。

9）赤十字の諸活動に関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

平成30年度

戴帽式

平成30年10月26日(金)

宣誓

私たち120回生は、本日戴帽式を迎えることができ、嬉しく思うとともに、あらためて看護師を目指すのだと実感し、身が引き締まる思いです。これからも私たちを支えてくださる多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、クラスの仲間と支え合っていきます。そして、常に患者さんに寄り添い、臨機応変に行動ができる赤十字看護師になれるよう、お互いを高め合い、日々努力することを誓います。

(戴帽生代表)

戴帽式を終えて

ようやく看護師を目指すスタートラインに立てたのだと嬉しく思いました。多くの方々からの祝福の言葉から私たちは期待を背負ってここにいることを感じ、専門職業人としての心構えや責任の重さを改めて自覚しました。私が戴帽式を無事に迎えることができたのは、周囲の方々の支えがあったからこそであり、感謝の気持ちを忘れず前に進んでいきたいと思います。

そして、常に患者さんやその家族の心に寄り添い応える看護、根拠に基づいた看護が提供できる看護師を目指して一日一日努力を惜しまず頑張っていきたいと思います。

(クラスⅠ)

戴帽を祝う会

120回生の皆さん、戴帽おめでとうございます。ナースキャップを戴いた感想はいかがですか？私たちも、昨年戴帽式を終え、ナースキャップの重みを感じたことを思い出しました。入学から半年が経ち、勉強や実習などとても忙しい日々だったと思いますが、これからも周りの方々への感謝を忘れず、看護師という同じ目標に向かって一緒に頑張りましょう！

(クラスⅡ)

講演会
国際救援活動の実際 ～看護学生に期待すること～

講師：名古屋第二赤十字病院 副院長兼看護部長
伊藤 明子先生

戴帽を祝う会で、平成29年にナイチンゲール記章を受章された伊藤明子先生に講演をしていただきました。伊藤先生から患者だけでなくその家族に寄り添った看護をされていること、看護の対象は、患者だけでなく患者を取り巻く全ての人々だということを学びました。患者が置かれている状況、気持ちを考え行動出来るよう今後の講義や実習を通し、知識、技術を深めていきたいと思います。

(クラスⅡ)

戴帽式

戴帽式で自分の名前が呼ばれたとき練習とは違う緊張感があり、壇上に上がった時いつもより背筋が伸びて、気が引き締まった思いでした。自分のなりたい看護師像に一秒でも早く近づけるように実習や講義を通して成長していきたいと思いました。また戴帽式を迎えるにあたって多くの企画や準備をしてくださった先輩や先生、そして見に来てくれた家族に改めて支えられていることを実感することができた日になりました。

（クラスⅠ）

ナースキャップを戴いたとき想像以上に軽く、驚きました。しかし、たくさんの方からの話を聞いて、キャップが持つ責任の重さを実感するとともに、改めて看護師を目指しているのだという実感がわきました。私の誓いの詞は「いつも笑顔で患者さんの立場に立って行動できる看護師になる。」です。目標を達成するために普段の授業や、技術練習を頑張りたいです。また、みんなで協力して難しいことなどにも挑戦して乗り越えたいと思います。

（クラスⅠ）

球技大会

3年生は実習が続いていたので球技大会で久しぶりに体を動かし、リフレッシュすることが出来ました。私は、どちらかというとバレーボールは苦手ですが、チームで協力して楽しく参加することが出来ました。また、同学年だけでなく先生方や臨床指導者さんと一緒に楽しむことが出来ました。時には気分転換をすることが大切だと感じました。

（クラスⅢ）

今年の球技大会で私はバドミントンに参加しました。去年より試合数が多く、かなりハードでしたが、何もかも忘れて先生や他学年の学生と笑い合いながら対戦し、普段知らない一面を知ることができ、楽しかったです。良い結果を残すことはできませんでしたが、心身ともにリフレッシュし、とても良い息抜きの機会となりました。

（クラスⅡ）

初めての球技大会は大盛り上がりでとても楽しかったです。また、競技を通してクラスメイトやアドバイザーの先生の新しい一面を知る良い機会となりました。久しぶりに体を動かし、翌日からの3日間筋肉痛に苛まれるものとなりました。

（クラスⅠ）

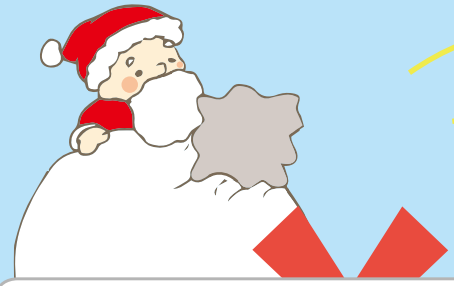
ボランティア活動

12月16日(日)に、姫路駅前でクリスマスキャンペーンを行いました。キャンペーンでは、「誰かのために届けようあなたの思い」をスローガンに400ml献血への協力を呼びかけました。寒い中でしたが、71名の方が協力してくださいました。学生自身も献血をして、少しでも血液製剤を必要とする方の助けとなれるよう活動をしました。私達、学生奉仕団献血班の活動を通して献血への理解を高め、より多くの方に協力して頂けることを目標にして、今後も活動を行っていきたいと思います。寒い中、献血にご協力くださった方々、ありがとうございました。

（クラスⅡ）

12月16日（日）に姫路駅北側で行われたNHK海外たすけあい街頭募金活動に参加させていただきました。風船の配布を行ったり、のぼり旗、メッセージボードを持って、世界各地の紛争や自然災害などに苦しむ人への募金を呼びかけました。募金活動が行われていることは知っていましたが、実際にボランティアとして活動することができ、嬉しく思いました。当日は寒い日でしたが、呼びかけによって幼い子どもからお年寄りの方まで様々な年代の方々がこの活動を知るきっかけになったのではないかと思います。

（クラスⅡ）



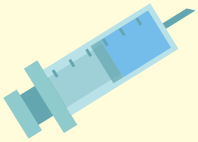
冬休み

年が明けてから、友人達とスノーボードに行ってきました。私は人生初のスノーボードだったので、経験者から教えてもらいながら滑りました。いままでにない感覚で少し難しかったですが、滑り出したらとても気持ちよくどっぷりスノーボードにはまりました。そして、リフレッシュすることができました。これから実習や試験があるので気持ちを切り替えて看護の勉強に励みたいです。

（クラスⅠ）

「2018年お疲れ様でした！」ということで、しゃぶしゃぶを食べに行きました！この四人は初めての席替えで同じ班になったメンバーで、もう席はバラバラですが、こうして定期的に集まって色々な話ができて嬉しいです。写真をたくさん撮ったり、クリスマスだったのでプレゼント交換をしたり、幸せな時間を過ごせました。年が明けて実習に試験にと大変だけど、落ち着いたらまた四人で遊びに行こうね！

（クラスⅠ）



３年生 統合実習を終えて

統合実習では、チームで動く難しさや複数の患者の状況を把握する事の大切さなど様々なことを学びました。特に6人の学生で4人の患者を受け持ち、それぞれの患者の緊急度や重症度から優先順位を考え、関わりました。また、今までの実習での学びを活かし、退院指導など具体的に考える事が出来ました。卒業して看護師として働く際にこの学びを忘れずに活かしていきたいと思います。まずは国家試験頑張ります！！

（クラスⅢ）

私は統合実習で、体動時の疼痛や倦怠感が強いため清潔ケアに対し積極的ではなかった患者と関わった。患者の気持ちを尊重してケアを行わない方がいいのか、医療者としてどのように対応すればよいのか悩むこともあった。その時に師長が、「患者の思いばかりを聞いていくことが優しさではない。」と話していたことを思い出し、時には患者が納得できるように説明を行い患者にとって必要な援助を実施していくことも大切だと感じた。常に中心は患者であり、患者の安楽、安全を考え行動をしていきたいと強く思った実習であった。

（クラスⅢ）

統合実習では、多重課題のなか優先順位を考え、看護を提供する大切さを学びました。また、医療チームの一員としての自覚を持ち、報告・連絡・相談をしていくことで様々な視点から患者を看る事ができ、看護の質を高められ、患者の安全に繋がると学びました。はじめは、複数の患者を受け持つことに不安がありましたが、スタッフや先生からアドバイスを頂き、少しずつですが患者主体の看護を提供できるようになったと感じています。三年間の実習で学んだ多くのことをこれからの看護に活かしていきたいです。

（クラスⅢ）

のおもいで

学生のページは
わたしたちが作りました!!

元旦に友達と神戸の二宮神社と北野天満神社へ初詣に行ってきました。地元を離れて一人暮らしをしている子だったので、久々に会ってたくさん話せて楽しかったです。また、朝早くから出かけたので、人も少なく、ゆったりとした時間を過ごすことができ、いいリフレッシュになりました。これからは気持ちを切り替えて、実習と後期試験に向けて頑張っていこうと思います。

（クラスⅠ）

私はクラスの友達と少し早めのクリスマスパーティーをしました。雰囲気を出すために部屋を飾り付け、チーズフォンデュをしたり、ケーキを作ったりしてクリスマス気分を楽しむことができました。プレゼント交換ではそれぞれが準備したプレゼントを音楽に合わせて交換しました。みんなと楽しい時間を過ごせてよかったです。

（クラスⅡ）

冬休みに静岡にいる姉が帰ってきました。2人で映画を見に行ったり、串カツを食べたり、ショッピングに行ったりしました。お互いの学校生活のことを話し合い、久しぶりに姉妹としての時間を過ごすことができたので、とても楽しかったです。

（クラスⅡ）

1月2日に友達と初売りに行きました。朝早くから並んだかいもあり、2人ともお目当てのものを購入することができ大満足でした！！！初売りの後は、姫路城の近くにある護国神社に初詣に出かけ、おみくじを引きました。結果は大吉で新年良いスタートをきることができました。今年からは、本格的に実習が始まってくるので実習でも良いスタートをきれるように勉強や技術練習を頑張っていきたいと思います。

（クラスⅡ）

トレーニングセンター

10月18日（木）秋の晴天の中、宍粟市生涯学習センター学遊館においてトレーニングセンターを開催しました。日本赤十字社兵庫県支部と姫路赤十字病院社会課の協力のもと、災害時に使用する資器材を使用して、災害救護に必要な知識・技術・態度を学びます。

1年生の傷病者役が助けを求めると、救護者役の2年生の表情はより一層引き締まっていました。2年生はとても緊張していましたが、一生懸命、傷病者を救護したいという熱い思いが伝わってきました。

（専任教師：藤元 由起子）

平成30年度災害拠点病院研修

平成30年12月2日（土）

姫路赤十字病院で開催された研修に1年生40名が学生ボランティアと被災者役で参加しました。ボランティア登録をし、傷病者の搬送や給食の運搬、実際の医師や看護師に救護される被災者役など初めて経験することが多い中で、緊張しながらも一生懸命自分の役割を果たそうと頑張っていました。参加した感想には、次のトレーニングセンターに向けての意気込みを感じ、うれしく思いました。

（専任教師：内海 尚美）

● 災害拠点病院研修に参加して

私は学生ボランティアとして参加しました。搬送係を担当しましたが、たくさんの情報が入ってくる中でまず自分が優先すべきことは何か、迷いっぱなしでした。災害では、いくら訓練していても全く予想のつかなかったことが起きることがあると思います。そのときにどれだけ冷静に、臨機応変に判断して行動できるかが人の命を守ることに大きく関わってくるのだと感じました。

（クラスⅠ）

院外実習の様子「老年看護学実習Ⅰ」

介護老人保健施設　老人ケアセンター緑ヶ丘

5日間の実習最終日に学生主体でレクリエーションをさせていただきます。多くの療養者さんが参加できるよう運動機能や認知機能、季節感などを考慮しながら企画・実施します。また、療養者さんに楽しい雰囲気を感じていただけるように学生自身も楽しむことを心掛けました。今年度は団扇を使ったゲームや秋のイラストに塗り絵をして写真のように絵を完成させるなど発想が豊かでした。この絵は施設内に掲示してくださり、療養者さんの記憶にも残っているようでした。

（専任教師：藤田 美佐子）

講師紹介

姫路赤十字病院 4階東病棟 看護師長
廣岡（ひろおか） 美絵（みえ）

母性看護学で分娩期を担当しています。

分娩期の身体的・心理的・社会的特徴や、新生児の胎外生活への適応過程を理解し、看護上必要な援助について学んでほしいと思います。

現場での様々な事例を紹介しながら、分娩期の看護がイメージしやすいように講義を行っていきたいと思います。母性看護を通して、命の大切さや自分自身のライフサイクルを考える機会にもしていただけたらと思います。

姫路赤十字病院 4階東病棟 看護係長
圓田（まるた） 友美（ともみ）

婦人科領域の講義を担当しています。自分自身が学生の時に、講師の話が面白いと感じて学習が進むことがありました。「学習が面白い」と感じるような講義を目指したいと考えています。「いつするの？今でしょ。」の名言で有名な林先生のように自主的に学習が進むように講義をしたいです。グループワークで学び、学びを発表につなげる学習で、時間内に学んだことが少しでも記憶に残るような活かせる講義と時間を学生と過ごしたいです。楽しく学べるように、講義をすすめることができるようにスキルアップしたいと思います。

看護教育実習を終えて

平成30年10月16日（火）～10月31日（水）

10月の看護教育実習では、指導案を立案し授業させて頂きました。実施後は学生の反応を見ながら授業を進めていく難しさと、同時にやり遂げた充実感で一杯でした。学生が自ら気づき考えることを目指し何度も熟考した指導案と教育実習での経験、そして仲間は私たちの宝物です。姫路赤十字看護専門学校の先生方からの多くの学びを、教育の実践に活かしていきます。ありがとうございました。

（平成30年度兵庫県専任教員養成講習会 講習生）

平成30年度
第1回学校関係者評価会議

学校関係者評価会議に参加し、講師や自治会、施設等の関係者の話を聞くと、これから看護師を目指す子供たちを取り巻く環境は年々厳しくなり、自身の目標・目的を明確化し、就職活動に取り組んでいかなければならない現状を知りました。

さらに、保護者の方々からのお話は、家庭でのメンタルサポートの重要性が多く語られ、不安を抱えながらも家族一丸となって子供たちを支えている姿に感動しました。

（クラスⅡ保護者代表）

第33回姫路赤十字看護専門学校同窓会

秋麗（あきうらら）の10月27日（土）に4名の来賓をお迎えし、125名の卒業生の出席のもと盛会に開催されました。今回の催しは、「中・西播磨医療圏の医療情勢～姫路赤十字病院の現況～」と題して佐藤四三学校長兼病院長にお話いただきました。人口減少、少子高齢多死社会を迎える医療情勢はパラダイムシフトを求められています。看護基礎教育もまた10年後、20年後の社会を見据えて赤十字精神を基盤として地域の随所で活躍できる看護師を輩出する責任を新たにしました。

（副学校長補佐：坂本 佳代子）

第16回

関西看護学生看護研究大会 平成30年10月31日(水)

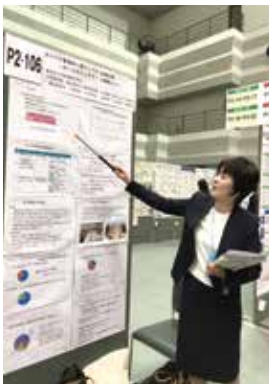
発表テーマ:統合失調症患者の行動変容への関わり～患者の療育環境を配慮して～

今回、私は関西看護学生看護研究大会で発表させていただきました。ケーススタディをまとめていく中で、自分が行った看護が対象にどのように影響したのかを深く振り返ることができました。また、自分の看護観を深めることができたと思います。このように発表できたのもたくさんの支えがあったからだと思います。この経験での学びを今後の看護に活かしていきたいと思います。

（クラスⅢ）

第54回 日本赤十字社医学会総会

平成30年11月15日(木)・16日(金)
発表テーマ:キャリア教育の一環としての就業支援―ホームカミングデーを実施して―



今回上記テーマでポスター発表をさせていただきました。ホームカミングデーに参加した卒業生の7割が「働き続ける助けになった」と答えています。同級生との久々の交流で心身のリフレッシュとなり、卒業後母校から遠のいていた足が、訪問しやすくなったようです。これからもホームカミングデーが、働き続ける上での一助になればと考えます。

また、総会には日本赤十字社に関係のある全ての職種の方が参加されます。他校の先生方と話す機会や他施設で頑張っている卒業生や友人に出会い、元気とエネルギーをもらいました。

（専任教師:内海 尚美）

カリオン 歴史シリーズ

戦時救護　水筒

戦後70余年となりました。本校44回生の福井すが子様より、戦時救護の際に使用された水筒を同窓会にご寄贈いただきました。福井様は、兵庫634救護班として外地招集され旅順満州に配属された一年後に終戦を迎えられました。青酸カリをもらい、死を覚悟されていましたが、命令変更、ソ連軍の捕虜となり、自分の身を処するのがやっと・・という極限状態の中でも、残してきた患者達のことを案じておられました。

この水筒に入れる水もない時もあった黄砂の中での大移動、数少ない荷物も次々没収された中で、絶対手放したくない日赤の制服と、この水筒を故国に持ち帰られました。

戦争を知らない私たちの世代にとっては想像もつかないご苦労の中で、多くの救護員の方々が身をもって示された博愛・平等・奉仕の行動こそ赤十字精神の鑑であり、その尊い献身のおかげで今日のあることを深く心に銘じ、後輩にも伝えていきたいと切に感じています。遺芳の間に展示させていただきます。是非、ご覧下さい。

（副学校長:柳 めぐみ）

編集後記

夢前川の川沿いを散歩するようになって14年が経った。中州の様子に季節の移ろいを感じる日々である。カモの親子が川面を泳ぐ様子、ヌートリアは春にはカップルになって泳いでいる。キジの鳴き声もきこえる。一度だけ鹿を見かけたこともある。

最近になって、中州の掘削工事が始まった。台風が過ぎる度に流れついた木々や砂利が堆積し、川の水位が上がることにヒヤヒヤしてはいる。このまま工事が進んでいけば、中州がなくなり生き物たちの行き場がなくなるのではないかとちょっと心配な日々である。

安全を保ちつつ、自然と共存することはたやすいことではないのだろうか。

（専任教師:名村 かよみ）

姫路赤十字看護専門学校 カリオン Vol.37 発行日 2019年(平成31年)2月
発行 姫路赤十字看護専門学校
発行責任者 学校長 佐藤四三
編集責任者 事務部長 川下清春
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2
TEL/FAX 079-299-0052(直通)
http://himeji.jrc.or.jp/school/